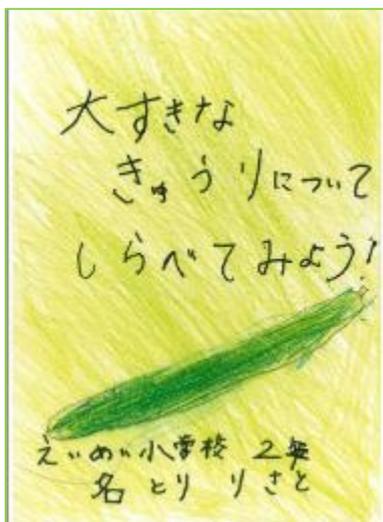


全国佳作作品介绍

🏆 佳作



「大すきな きゅうりについて しらべてみよう!」

永明小学校 2年 名取 伶恵さん

「きゅうりが大すき!きゅうりっておいしいよ。なんでおいしいのかな。」自分が大すきなきゅうりのことを、もっと知りたい!そんな気持ちが伝わってきます。

自分で実際に育てたようすを、本で調べて確かめながら、虫や病気に負けずに、おいしいきゅうりを育てる方法を見つけています。「きゅうりはかせ」になれそうなくらいにいいいに調べた作品は、探究心にあふれています。

「タコとイカは、どっちがすごい?」

豊平小学校 2年 山田 昊芽さん

「すきな本をしょうかいする」という授業で出会った本を読んで生まれた疑問。

タコとイカの「すみ」に目をつけて、両方の「すみ」のちがいを調べて、見る人にもわかりやすくまとめました。いかすみでかいた「文字」と「絵」もすてきです。二つのちがいを調べた昊芽さんは、食べてもおいしいイカのほうがすごい!とまとめています。作品を読んだみなさんはどう思うのか、気になりますね。



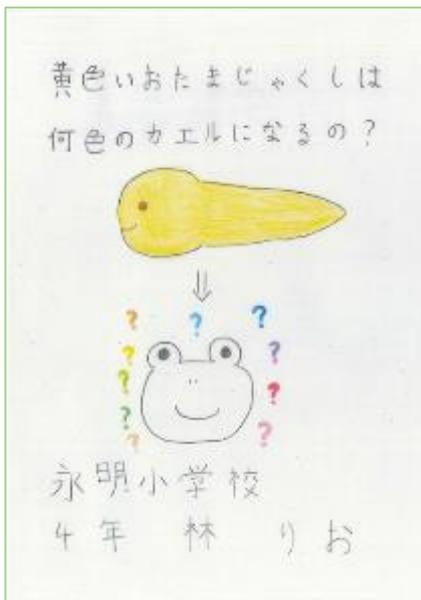
「チェンバロvsピアノ ~ピアノが主流になったわけ~」

宮川小学校 3年 伊藤あかりさん



ピアノの前身ともいわれるチェンバロ。形は似ているけれど音の鳴る仕組みは全くちがう楽器。そこに目をつけ、何度も図書館に通って調べました。

チェンバロとピアノを、音のひびきに注目して、音の鳴る仕組みを比べながらそれぞれの魅力にせまり、自分で実際に弾き比べて、ていねいに調べてまとめたすてきな作品です。



「黄色いおたまじゃくしは何色のカエルになるの？」

永明小学校 4年 林 莉緒さん

弟さんがつかまえた黄色いおたまじゃくし。この出会いから生れた疑問をテーマに、観察してふしぎに思ったことを本で調べていきます。

本で調べても分からないことは専門家に聞き、自分の疑問が分かるまで、根気よく調べてまとめた素敵な作品です。



「あぶない!諏訪地域に迫りくる大地震

～昭和東南海地震・糸魚川静岡構造線から学ぶこと～

永明小学校 4年 矢崎 大智さん

いろいろな「はてな？」のアンテナを高く持っている大智さん。ふだんからの「気になることは調べる」ことが今回のテーマにつながっています。

専門書はもちろん、記録集や気象庁のHPなど確かな情報を集めて、その情報をもとに現地を見たり専門家に取材をしたり、自分の疑問を深く追究しています。さらにわかったことを、防災につなげようと取材を重ねてまとめた素晴らしい作品です。

「みんな知ってる? りんどうの里」

米沢小学校 4年 矢野 舞歩さん



いつもそこにあるのに、見過ごしてしまいがちな「石碑」。そこにきざまれた文字に興味を持ったことをきっかけに、地いきの栽培活動を深く調べることができたすてきな作品です。

長野県花・茅野市花であり、大人には身近な「りんどう」資料を読んだりインタビューをしたりして、疑問に思ったことをさらに調べながら、初めて知った「りんどう」への思いが深まっていくのが伝わってきます。

なぜ人は 夢を見るのか



豊平小学校 4-1
船越 あんじ

「なぜ人は夢を見るのか」

豊平小学校 4年 船越あんじさん

毎朝のお母さんとの会話から生まれた、すてきな疑問ですね。

本で調べたことと、家族が実際に見た夢や、睡眠時間とを比べながら自分なりに考察し、アバターを使って自分のことばでわかりやすくまとめられ、あんじさんが主役になったすてきな作品です。

今夜はどんな夢をみるのかな？

NO IMAGE

「食べ物ってなんで美味しいの？」

～味覚の不思議～

玉川小学校 5年 清水 湊斗さん

「食」とは「人を良くすること」と書きます。

食べるとしあわせな気持ちになるという湊斗さん。自分の体験から「味」の感じ方に興味を持ち、自分なりの予想を本で調べ、実際に調理をして確かめていきました。

作品を通して、「食べる」ことの奥にある大切なものに気づくことができる素敵な作品です。

備えろ！

巨大地震！！

～地震大国日本に住む僕にできること～



茅野市立金沢小学校

6年 名取蒼生

「備えろ！ 巨大地震！！」

～地震大国日本に住む僕にできること～

金沢小学校 6年 名取 蒼生さん

自分自身の体験と生活の中で耳にしたニュースとを結び付けて感じた疑問に向き合い、地震のしくみを深く調べています。

地震のしくみを知った蒼生さんは、そこからさらに多くの資料を活用し、過去の被害を検証したり、東日本大震災の被災地を訪ねたりして体感したことを考察し、自分の防災計画もまとめた深まりのある素敵な作品になりました。

ぼくの家の前の川は
坂本養川の堰なのか？



茅野市立 湖東小学校
六年 小河原 諭一

「ぼくの家の前の川は 坂本養川の堰なのか？」

湖東小学校 6年 小河原諭一さん

地域の偉人「坂本養川」。自宅前の用水路がどこから流れてきているのか、歩いて確かめたことと、図書館で見た「坂本養川」のつながりに「はてな？」が生まれた諭一さんの視点がとっても素敵です。

自分で歩いた17kmを模造紙にまとめ、坂本養川の堰について改めて資料を読み深めることで、体験と地図と資料が結びつき、地域を深く理解した道すじが伝わってくる素敵な作品です。

⚡雷に
どう備えるの？⚡

永明中学校 1年4部
中嶋 理晴

「雷にどう備えるの？」

永明中学校 1年 中嶋 理晴さん

落雷を目にした理晴さん。それを聞いたおじいさんが話してくれた雷の話。その時に感じたことをそのままにせず、深く知ろうと様々な本で調べています。

同じ「雷」でも、天気の見点からだけではなく「雷事故」の見点からも科学的に調べ、多様な資料から示唆されたことを自分の生活に置き換えて考察しているところも素敵です。自分のことばとイラストで分かりやすくまとめられた素敵な作品です。

雷は
どうして
ゴロゴロ鳴るの？



茅野市立永明中学校
1年 萩原 煌月

「雷はどうしてゴロゴロ鳴るの？」

永明中学校 1年 萩原 煌月さん

今年の夏も、よく雷が鳴っていました。そんな雷の音の違いに気付いた煌月さん。

雷の「音」を切り口に、煌月さんの見点でたくさんの資料を調べ、その正体を明らかにしていきます。

実際の雷の観察記録と煌月さんオリジナルのイラストを組み合わせ、読む人にも分かりやすくまとめられた素敵な作品です。



「ツバメ ~愛情たっぷりな子育ての秘密~」

東部中学校 1年 伊藤 南美さん

自宅に巣作りを始めたツバメ。その様子から、「子育て」に視点をあてて、お母さんのように温かい目での調べる学習が始まっています。

自宅だけでなくいろいろな場所にあるツバメの巣を観察したことと、本で調べたこととを照らし合わせて自分なりに考察したことが、写真とイラストをつかって分かりやすくまとめられています。

来年もツバメが巣作りに来てくれるといいですね。